

放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 27 年 9 月 24 日 (木)
2. 開催場所 三島市一番町 2-29
三島商工会議所 3 階・ミーティングルーム
3. 委員の出席
 - ① 委員の総数 6 名
 - ② 出席委員数 5 名
 - ③ 出席委員の氏名
岡山 一夫、増田 満、中山 勝善
白井 由美子、藤吉 智子
 - ④ 放送事業者側出席者
杉山 喜徳 (代表取締役)、遠藤 真里 (総務部)
4. 議 題
 - 第 1 号議案 韮山反射炉・世界遺産登録記念 特別番組
「江川坦庵 ～熱き心の火～」
 - 第 2 号議案 防災情報の自動音声割り込み放送について その他
5. 議事の概要
江川坦庵～熱き心の火～についての講評

第 1 号議案

放送日時：前編 平成 27 年 8 月 18 日 (火) 10 時 00 分～10 時 30 分
後編 平成 27 年 8 月 25 日 (火) 10 時 00 分～10 時 30 分
60 分再構成編 平成 27 年 8 月 30 日 (日) 15 時 00 分～16 時

放送内容：反射炉の生みの親は韮山代官・江川太郎左衛門英龍 (坦庵) だ。世界情勢を的確に捉えた洞察力、将来を見据えた先見性等々、どれをとっても、あの時代を生きた人物としては群を抜く知力を感じさせる。しかし、彼は江川家代々の中でも傑出した存在だったのだろうか。また、彼の遺した最大の功績を「反射炉建設」だけで片づけていいのだろうか。坦庵の“人となり”を探りながら、人物の大きさを見つめ直す。

第 2 号議案

- ① 防災情報の自動音声割り込み放送について
- ② 次回番組審議会の開催日程

6. 審議内容

第1号議案 番組の講評

- ・ 葦山反射炉や江川坦庵公に抱いていた疑問を一つひとつ解いてくれる番組だった。
- ・ 江川坦庵公という人物像を江川家の成り立ちから説明してくれたので、よく理解できた。
- ・ BGMを使っていなかったのが、話に集中できた。
- ・ 聴いていて、大河ドラマの主人公にもなれる人物だと思った。
- ・ 出演者のプロフィールの説明がもっと欲しかった。
- ・ 坦庵公の苦労した場面がもっと盛り込まれてもよかった。失敗して熱い心の火を燃やすところをもっと知りたかった。

第2号議案 放送番組編集の基準について、その他

- ① 防災情報の自動音声割り込み放送について、全会一致で承認
- ② 次回番組審議会を開催日程決定 平成27年11月26日